

兵庫県を
変える

憲法が輝く
兵庫県政を
つくる会

TEL 078-335-3802
FAX 078-335-3830

Eメール : info@kenpo-kensei.com
ウェブサイト : www.tsugawatomohisa.com
Twitter・HP : 「兵庫・憲法県政の会」
Twitter : 「津川ともひさ@7月兵庫県を変える!」
Facebook : 「津川ともひさ」 【部内資料】

県政転換への願いを総結集 4月21日大集会 1500人が参加



「550万人、県民のための兵庫を」
この声を県下すみずみに、届けよう

「兵庫・憲法県政の会」は4月21日、「津川ともひさ@7月兵庫を変える大集会」を開き、全県から1500人が参加しました。

勝敗が決する7月2日まで2カ月です。すべての加入団体・地域の会が至急、たたかう方針を確立し、構成員が力を120%発揮して、必ず「550万人、県民のための兵庫」を実現しましょう。

津川ともひさ代表幹事

は、「地域を住民の手に取り戻すたかいです。住民一人ひとりがそこで人生サイクルを充分完結できる、そんな地域につくり変えていきましょう。地域を守りたいとねがう人々としつかり手を結び、憲法が輝く兵庫県政を実現します。兵庫県政を変え、アベ政治を追い詰めるため、全力でたたかいます」と決意を表明しました。(2面に大要)

【スピーチ・メッセージをいただいたみなさん】

未来の社会を考える

仲間たち

久一千春さん

福島県南相馬市から

家族避難されている

木幡智恵子さん

明日の自由を守る

若手弁護士会の兵庫支部

園田洋輔弁護士

安保法制に反対する

学者の会

岩佐卓也神戸大学准教授

元東播磨高校2年3組

井上清美さん

安保法制に反対するママと

有志の会@兵庫

向山桂子さん

【憲法県政の実現へ訴えをされた団体・個人】

兵庫県労働組合総連合

新日本婦人の会兵庫県本部

震災復興借上住宅協議会

安田秋成会長

【集会で寄せられた一言メッセージから】

〇「兵庫を変えよう」、青年の声に感動しました。県



【みなさんへのお願い】代表幹事

石川康宏(4月21日大集会)

【1】音の出る宣伝です。自由な宣伝は6月14日までです。「兵庫県を変える津川ともひさです」と、地域の空気を変えていきましょう。

【2】地域の有権者の半数を目標とした対話です。ミニリーフを渡し、ワンコイン袋に一言書いてもらうことをきっかけに、大いに話し合いをしていきましょう。

【3】SNSへの挑戦です。毎日の津川さんの発信を、ぜひ広めてください。

【4】野党の議員、市民団体、有力者のみなさんとの交流を、地域でも進めていきましょう。

【5】今日「会」が発行したカラーパンフの学習をしましょう。さらに自治体問題研究所の『これでいいのか兵庫県政』の活用も。

【6】個人募金のお願いです。

7月2日まで、行動を重ねていきましょう。

民に目を向けた県政を取り
もどそう
〇みんながつくったすばらしい集会でした
〇県民にやさしい県政をつくるためにガンバル。勇気がわいてくる素晴らしい集会でした
(2面に続く)

兵庫県を変え、憲法が輝く県政実現へ たたかいを一緒にすすめていこう

代表幹事 津川ともひさ



大勢の方に参加いただき、ありがとうございます。田中耕太郎さんのあとを受けてたたかう、津川ともひさです。

記者会見以来5カ月、県下を駆けまわり、たくさんの方とお話することができました。その中で見えてきたことは、「地域が壊されている」ことです。

公立病院の総院長さんは、「この町が大好きですが、病院がなくなれば、町を出て行きます。親の老後をみていくことができないから」と話しておられました。

養父市内の中学校の先生は、「小中一貫校のモデル校は、授業の準備・当日・後始末が大変。しかもそれが小学校を統合させるためなので、いいようのない徒労感を覚える」と言われました。神戸市内でも小学校が統廃合され、一方では過密学校が生まれていますが、過密校は、学校内で骨を折る事故が多いというデータもあります。

地域から病院が奪われ、学校がなくなり、交通手段が奪われ、生きることが困難になっています。その原因は、国民の生活実態に心を寄せない安倍暴走政治、それに右へならえをし、ハッパをかける兵庫県政にあります。

福井地裁が大飯原発の再稼働をみとめない判決を下したとき井戸知事は、「行き過ぎた判決だ。100%の安全なんて言っていたら車にも飛行機にも乗れない」と言い、県議会では「原発を再稼働させないように国・電力会社に働きかけよ」という質問に「それは国が決めること。私に迫られても手の打ちようがない」と答弁しました。

現知事のこうした姿勢は、すべての行政課題に貫かれています。補助金と減税で大企業の誘致をすすめ、無駄な大型開発をすすめる。一部の者の利益の草刈り場として地域を提供する。刈り取る草がなくなると、大企業はさっさと撤退します。核兵器を積んでいるかもしれない米艦船のために三度も姫路港を提供しました。

でもみなさん。地域には、もう一つの姿があります。「やせてしまった海」の海底を耕す漁師さん。新しいブランド商品化へ、トマトの品種改良と、手がける若い人も育

てしていると語るあわじ島農協の組合長さん。子どもたちのために地域に根ざした学校づくりを支援されている市長さん。病院守れ、学校をなくすな、自分たちの足を守ろう、被災者の生活を支えよなど、ねばり強い市民の運動を県下のいたるところで見ることができました。

住民一人ひとりが人生サイクルを完結できる、そんな地域につくり変えていきましょう。

私は、こうした方々としっかり手を結び、兵庫県政を変えます。憲法が輝く兵庫県政を実現します。

一つ、県民生活を支える県政に転換します。高校卒業まで医療費は無料。返さなくてもよい奨学金を県独自につくります。老人医療費助成事業を復活充実させます。無駄な大型公共事業をひかえれば、財源は生まれます。今すぐ最賃1000円、早期に1500円を国に強く迫ります。

二つ、原発ゼロを迫り、再生可能エネルギーへの抜本転換を推進・支援します。

三つ、憲法9条を守り生かし、平和にこだわり抜く県政に転換します。戦争法廃止を国に強く求めます。非核兵庫宣言を行い、日本海を囲んで日本・韓国・中国・ロシアなどの自治体との「平和外交」を展開します。

みなさん。たたかいはあと2カ月と少し。兵庫県を変え、アベ政治を追い詰めるワクワクするこの取り組みを、一緒に進めていこうではありませんか。

「地域の会」 宣伝・対話活発に

宣伝キャラバン計画 (北はりまの会)

「はりま中央の会」と「にしたか(西脇・多可)の会」は4月13日、合同会議を行い、「北はりまの会」として、共同して取り組む方針と体制を確立しました。4月30日には、津川代表幹事を迎え、地域を網羅する宣伝キャラバンに取り組みます。

体制強化、行動具体化 (加印の会)

「加印の会」は、4月に入り2回幹事会を開き、5月9日総会・決起集会、6月9日演説会に向けて、体制の強化、宣伝・対話活動の具体化をすすめています。

48人が参加し2カ所で 宣伝(須磨区の会)

「須磨区の会」は4月17日雨の中、津川代表幹事を迎え、板宿商店街と地下鉄名谷駅の2カ所で宣伝。48人が参加し、横断幕やのぼり、プラス

ターも掲げ対話しながらの行動となりました。



○熱気ある集会で、県政を変える希望が持てました
○決意を聞き、すばらしい兵庫県の姿が目に見えてきた、ぜひ共に実現しましょう

○集会に参加した一人としてがんばりたい、立憲主義・民主主義・平和主義を取り戻していくために
○津川知事の元で暮らしたい、そのためにガンバロウ
○県民のための兵庫県へ、人間らしく生きるため一緒にがんばりましょう

○ともに手をたずさえ県政をかえたい、私のために、みんなのために
○兵庫県政を変えれば、腐臭たどようアベ政治も変えることができる

○人間味あふれる津川さんに県に乗り込んでいただき、まっとうな行政を築いて欲しい
○戦争する国、弱いものいじめの国へ突き進む自公政治を打ち破るのは兵庫から、全国にしろそう兵庫の力を

○がんばりましょう、決意してくれてありがとう
○付度はかりせず、国・県の政治をせんたくしよう
○子や孫のため平和な社会を続けていくためにがんばる

○3度目の正直。必ず勝利を、そのためにこれまでにない運動で

○沖繩の翁長知事とともに津川兵庫知事が日本の平和を守る先頭に立てるようがんばります